

タイにおける石油価格政策および需給動向

◇2026 年 3 月以降の中東情勢の緊迫化に伴い、国際原油価格およびシンガポール石油製品市況が上昇し、タイ国内の石油製品価格にも強い上昇圧力が及んだ。

◇燃料油基金の財政負担が拡大する中、タイ政府は市場実勢をより反映した価格政策への見直しを進める方針を示した。これを受けた価格改定前の先行購入や流通段階での在庫積み増しを背景に、2026 年 3 月のディーゼル販売量は 2021 年以降で最高水準を記録した。

◇今後は国際原油価格や政府の価格政策の動向が、国内の石油需給や製油所運営に与える影響を継続的に注視する必要がある。

1. はじめに

2026 年 3 月以降の中東情勢の緊迫化は、国際原油価格および石油製品市況の上昇を通じて、タイ国内の石油市場にも影響を及ぼした。価格抑制策を支えてきた燃料油基金の財政負担は一

1. はじめに

2. タイの石油価格実績と価格政策

- (1) 中東情勢悪化に伴った価格政策について
- (2) 地政学的リスクの過去事例

(3) LPG 価格の安定化政策とタイ政府の優先的な価格政策について

3. タイ 石油需給動向情報

4. まとめ



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >

東南アジアにおけるバイオ燃料政策動向

◇東南アジア主要国では、エネルギー安全保障の強化、原油輸入依存度の低減および国内農業の振興を目的として、バイオ燃料政策の推進が進められている。

◇各国政府は資源状況やエネルギー事情に応じた政策を展開しており、2026 年にはインドネシアの B50 導入やベトナムの E10 全国展開等、燃料供給体制や関連産業の再編を伴う転換期を迎えている。

◇バイオ燃料の利用拡大は、石油製品需要の構造変化、製油所の稼働や設備投資、さらにはパーム油やエタノールなどの原料需給にも中長期的な影響を及ぼす重要な要素であり、今後も各国の政策動向や市場動向を継続的に注視する必要がある。

1. はじめに

東南アジアでは、各国の資源やエネルギー事情を踏まえたバイオ燃料政策が推進されるとともに、環境規制への対応や脱炭素化に向けた取組も加速している。2026 年は、インドネシアの B50 導入やベトナムの E10 全国展開等、バイオ燃料市場が新たな段階へ移行する節目となっている。本レポートでは、主要各国のバイオ燃料導

1. はじめに

2. 東南アジア バイオ燃料市場の総括と展望 (2026 年第 2 四半期)

- (1) タイ
- (2) インドネシア
- (3) マレーシア
- (4) ベトナム



2. 東南アジア バイオ燃料市場の総括と展望
この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。

お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申し込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >